

令和元年度 第8回政策推進会議報告

日 時 8月6日 9時34分～10時37分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 令和元年度普通交付税及び臨時財政対策債の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 交付税は下振れるより上振れるほうがいいに決まっているが、基準財政収入額について、国の算定額よりも本市の当初予算額のほうが多く見込んでいることが若干気になる。私たちにとって大事なのはやはり一般財源総額なので、もし10月の消費増税等で景気動向に大きな影響があり税収が当初予算額より大きく下振れると、当然私たちの財政はそこまで安泰ではなくなってしまいます。税収は全く確定していないので、そういう意味では、当初予算から更にぶれる可能性がある。
- 交付税がこういう形で算定されたので、税収の現時点での見込みについてのヒアリングを進めている。個人市民税はここ数年納税義務者数が増加していて、その傾向は今年度も続いている。一方で、法人市民税は、恐らく中国の情勢が影響しているのだと思うが、当初の見込みよりも少し下振れるような動きになっているという報告を受けている。
- ・(市長) 当然、税収が減れば交付税が増えるという仕組みなので、交付税が増えることだけを喜べるわけではない。ここ近年の尼崎市の財政が少し落ち着いているのは、税収の伸びがかなりプラスに働いているからで、そのため去年の決算で監査からも「フォローの風が吹いているときに進めるところまで進んでおかないと、常に追い風というわけにはいかない」という旨の意見をいただいている。今年あたりから、あまり楽観だけではいけないような経済情勢かと思うので、交付税が当初予算より上振れることは大変喜ばしいことではあるが、行革を緩める理由にはならないということを皆さんと共有しておきたい。

2 尼崎市都市計画道路整備プログラム(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・猪名寺椎堂線のところで上園橋の架け替えを行うという説明だったが、交差する南北の神崎橋伊丹線の整備とは連動しないのか。
- 神崎橋伊丹線と一緒にやると事業効果は発現しやすいが、そうするとやはり事業費がかさんでしまうので、猪名寺椎堂線については上園橋の架け替えと拡幅のみの事業をやるという計画にしている。
- ・(市長) 神崎橋伊丹線は事業中だが、一般的に財政的な側面からも事業中のものが終わらなくなかなか次への着手は現実には見えてこない。猪名寺椎堂線については令和10年までに着手予定として挙がっているが、今やっている神崎橋伊丹線の整備が終わってから橋の架け替えを行う予定ということか。

- 神崎橋伊丹線については路線があまりにも長いので、事業中という表示になっているものの、実際に今事業着手しているのは北側の一部だけで、内容としてはいわゆる競馬場事業で土地の買収を先行して実施しているというものである。
- ・神崎橋伊丹線の事業認可はどうなっているのか。
- 事業認可は取っている。
- ・(市長) 個人的には上園橋の架け替えは優先順位が高いと考えている。しかし、神崎橋伊丹線は長い話なのでなかなか大変だなと思う。
- 猪名寺椎堂線は上園橋が老朽化しているので、そのまま直すよりは架け替えて拡幅するほうが合理的であり、優先度はこちらのほうが高い。
- ・(市長) しかし、それが資料では事業中と着手予定で出てきてしまうので、そこの理解がなかなか難しい。パブコメで疑問の声をいただくかもしれない。
- そういう疑問点が出れば丁寧な説明をしていきたい。
- ・(市長) 上園橋の架け替えを行うには、やはり神崎橋伊丹線の拡幅ができていないと難しいのか。
- 橋の直近のアプローチ部分については、神崎橋伊丹線の用地買収を進めないと橋の架け替えの事業に入れない。神崎橋伊丹線の整備を全て終わらせないと猪名寺椎堂線に着手できないということではないが、重なる部分については同時施工というような形になるかと思う。
- ・(市長) 神崎橋伊丹線の北側だけ優先順位を上げられるか。
- 部分的にという上げ方はなかなか難しい。神崎橋伊丹線のうち必要な部分だけ事業中というように記載しておくのがわかりやすいのかなとは思う。
- ・(市長) 誰かがそこに対するパブコメを出してくれたら説明する機会になるだろう。
 - ・(吹野副市長) ひと咲きプラザの前の道路が概成済路線の表記になっているが、これは条件が整ったら拡幅するなどの計画があるのか。
- 概成済路線については、計画の3分の2以上が完成できている道路である。プラザの前の道路は、若王寺池の南側の一部が未整備になっているので、条件が整えば進める。
- ・(吹野副市長) 現状では若王寺の交差点において、東側と西側の道路の線が合っていない。ここで何か整備をする予定は今のところないのか。
- 県道なので事業主体は県になるが、今のところそのような事業は聞いていない。
- ・(市長) 若王寺付近は、歩道を緑色に塗っているのがあまり美しくないように思う。
 - ・(森山副市長) 交通安全対策で、通学路を表すために緑色で舗装している。
- 京都の亀岡で通学路の狭いところを児童が通学していて車にはねられた事故を受けて、道路の幅員を急に広げることができないが、緑で着色しているところは通学路だと明示することによって、ドライバーにできるだけスピードをあげないように注意喚起しているものである。
- ・(市長) 自転車道はきれいに青く塗っていると感じるが、この通学路はかなり狭いところに無理やり塗ったように見える。
- 狭い箇所では路肩から30センチほどの幅だったり途切れ途切れだったりとした目がよくないところもあるが、ドライバーへの注意喚起という機能重視で行っている。

3 その他

- 危機管理安全局長から、兵庫県高潮浸水想定区域図の公表について説明。
- 総合政策局長から、A-Lab Exhibition Vol. 19「気配と存在」企画展「真夏の夜の音楽会」について説明。
- こども青少年局長から、学びと育ち研究シンポジウムについて説明。
- 経済環境局長から、クールチョイスシンポジウムについて説明。
- 消防局長から、熱中症累計統計について説明。

以 上